

伝言板

No.30(H30.11)



NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

みなとサポート事業	1	第11回 Sea級グルメ全国大会 in もんべつ	7
支部長等会議	3	北海道開発局防災エキスパート	8
助成活動	3	事務局・支部体制	10

みなとサポート事業

みなとサポート事業は開発建設部が開催する「みなと見学会」「みなとパネル展」「港に関するアンケート調査」などの実施について、当機構に支援要望のあった業務から支援可能な業務を選択して、会員の“みなとサポーター”が支援するもので、平成20年度から実施しています。

札幌支部

石狩湾新港「みなと見学会」

開催日：平成30年6月19日(火)・21日(木)・22日(金)

開催場所：石狩湾新港港内

開催概要：小樽開発建設部小樽港湾事務所が、石狩市内7小学校の児童(3年生・5年生)367名を対象に、みなとの歴史や利用状況などについて、パネルを使用しての座学と、楽しみな港湾業務艇「ひまわり」からのみなと見学。

サポーター：1日2名で6名が支援

支援内容：ライフジャケットの脱着・タラップの設置及び取外し補助・児童乗降時の安全確認・記念撮影の集合補助・当機構記念グッズの贈呈

6月20日(水)の石狩湾新港「みなと見学会」、7月11日(水)の岩内港「みなと見学会」、7月15日(日)の小樽港「みなと見学会」は強風などのため中止。



室蘭支部

室蘭港「海の日パネル展」

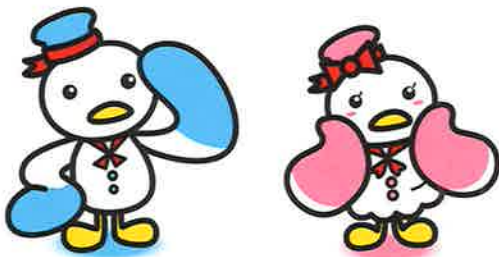
開催日：平成30年7月16日(月)

開催場所：道の駅「みたら室蘭」2階

開催概要：室蘭開発建設部室蘭港湾事務所が、港湾事業やそれらの目的などの紹介パネル、室蘭港関係の模型などを展示して、市民生活と室蘭港の関わりについて広く理解していただくため開催。当日の来場者は約180名。

サポーター：1日3名が支援

支援内容：来場者の誘導・パネルおよび模型の説明・当機構記念グッズの配布。



函館支部

函館港「はこだてマリンフェスティバル2018」

開催日：平成30年7月21日(土)・7月22日(日)

開催場所：「函館港パネル展」函館国際水産・海洋総合研究センター

「函館港みなと見学会」函館港湾事務所(21日)・弁天地区岸壁(22日)

開催概要：「はこだてマリンフェスティバル」に協賛して、函館開発建設部函館港湾事務所が港湾事業の理解と啓発を目的にパネル展を開催し、2日間で約540名が来場した。みなと見学会は港湾業務艇「みずなぎ」に乗船し、事務所職員から港湾施設の目的、利用状況などの説明を受けながら港内を一周した。参加者は2日間で124名。

サポーター：2日間で3名(延べ4名)

支援内容：パネル展では、港湾パネル、港湾施設模型、潜水士用具などの説明、会場整理、当機構グッズの配布。見学会では、乗船者へのライフジャケット脱着、乗船誘導および警備、グッズの配布。



支部長等会議

事務局と各支部の情報を共有し、みなとサポート事業、みなとパネル展、みなと座談会などの事業実施を円滑に進めることを目的に、毎年開催しています。

6月12日(火)正午からセントラル札幌北ビル5階、(一社)寒地港湾技術研究センター会議室にて、当機構支部長等会議を開催しました。会議の構成は当機構理事長、事務局長、事務局次長、札幌支部、函館支部、苫小牧支部、室蘭支部、釧路支部の支部長および副支部長の21名(室蘭支部は都合により欠席)が参加しました。開催にあたり理事長から挨拶をいただき、事務局長の説明により議事に入りました。

議事概要

- ①事務局・支部体制(事務局14名、各支部9名)
- ②事務局主要業務内容および実施状況
- ③みなとサポート事業の実実施計画、登録者49名(6月現在)
- ④着ぐるみ貸付事業の使用計画(ぼーとんくん・べいくりんちゃん)

- ⑤オリジナルグッズの配布(B6版ノート・ボールペン&マーカー・シール)
- ⑥防災エキスパート登録者31名(6月1日現在)・連絡体制など
- ⑦助成事業(一般の部9件、特定の部6件)
- ⑧その他・意見交換(サポート事業など情報伝達漏れが懸念されるので、関係支部は現地事業担当に再度確認)



支部長等会議

助成活動

道内のみなとまちの活性化を目指し、企画・実施されるイベントなど、みなとまちで実施される様々な事業を支援し、さらなる「みなとまちの活性化」に寄与することを目的に「助成事業」を平成20年から実施しています。11回目となる今年度は、各開発建設部の「みなとの相談窓口」を通して推薦していただくと共に、当機構のホームページおよび広報誌「伝言板」で募集要領を公表し、平成30年4月2日から5月7日かけ募集しました。

評価審査委員会

今年度は一般の部10団体から10件、特定の部6団体から6件の申請がありました。採択事業を決定するため5月17日(木)、午後から(一社)寒地港湾技術研究センター会議室にて「評価審査委員会」を開催しました。

委員会は、当機構理事長、寒地港湾技術研究センター理事長、学歴経験者の3名で構成され、当機構事務局長が応募資料を説明し審査に入りました。審査は、地域住民との連携、過去の開催実績などを考

慮し、一般の部は9件、特定の部は6件の15事業を採択し、5万円から15万円を助成しました。



助成審査委員会

採択事業

(一般の部)

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	・海の日コンサート ・みなとまちづくり 女性ネットワーク室蘭	・室蘭港を見る、知る、をきっかけに「うみ・み なと」にちなんだ曲を大勢で歌い、市民とのコミュ ニケーションを図る機会とする ・海の日に市民が集う水族館でコンサートを開催	・7月16日(月) ・室蘭市水族館
②	・みなとコンサート ・女性みなと街づくり苫小牧	・屋根付岸壁の完成を機会に、みなとの理解と施設 の魅力をPR ・苫小牧市民文化団体協議会と協同して、みなとに 立地する施設を活用し、演奏会とパネル展を同時 に開催	・12月22日(土)予定 ・苫小牧港漁港区屋 根付岸壁ほか
③	・WAKKANAI みなと コンサート 2018 ・稚内のみなとを考える女性ネッ トワーク	・最北稚内の夏を楽しみながら、市民と共に「みな と」の重要性を考える機会とする ・今年で70周年を迎える、稚内の観光名所である 歴史的建造物「北防波堤ドーム」内特設ステー ジで音楽会を開催	・7月15日(日) ・稚内北防波堤ドー ムステージ
④	・Sea 級グルメ全国大会 in もんべつ広報活動事業 ・みなとまちづくり 女性ネットワーク・オホーツク	・第11回みなとオアシス「Sec 級グルメ全国大会 in もんべつ」に参加、来場する方々に「みなとま ち紋別」をPR ・地元出店ブースにおいて、地元情報のパネル設置、 パンフレット配布などの活動	・8月25日(土) 8月26日(日) ・紋別市海洋公園
⑤	・深層水まつり ・深層水まつり実行委員会	・岩内町民や町内外の企業に向け、イベントを通じ て、深層水の様々な活用方法や利用効果をPR ・深層水を活用した製品の紹介、脱塩水の無料分水、 海の生き物について解説	・9月・3月 ・岩内町地場産業サ ポートセンター



一般の部 ③ WAKKANAI みなとコンサート 2018



一般の部 ④ Sea 級グルメ全国大会
in もんべつ広報活動事業

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
⑥	・ 釧路港における交流事業 ・ クシロ・ミナトルテ	・ クルーズ客と市民の交流促進を図ると共に、市民がみなとに触れ合う機会の提供 ・ クルーズ客や市民が気軽に参加して楽しめる盆踊りを開催、会場は縁日の雰囲気を作り出し、子供も参加できる雰囲気を演出	・ 8月19日(日) ・ 釧路港旅客船ターミナル
⑦	・ 函館港クルーズ船観光客対象 函館駅周辺動向調査 ・ みなとまちづくり 女性ネットワーク函館	・ 函館港若松地区クルーズ船岸壁完成後、クルーズ船観光客が函館駅周辺を散策すると思われ、クルーズ船客の満足度の向上を図るため ・ アンケート作成、調査、とりまとめ	・ 7月29日(日) ・ 函館 JR 駅周辺
⑧	・ 観光客と町民との 「おもてなし交流イベント」 ・ 鴛泊港活性化推進協議会	・ 観光客がピークになる「海の日」に、観光客と町民とのイベントを体験することで、みなとの活性化と利尻島を元気付ける ・ 会場は、漁具や大漁旗を飾り、「魚介類の採り、食べる」など体験メニューで交流	・ 7月15日(日) ・ 利尻富士町鴛泊港緑地公園
⑨	・ 第4回よいち旬鮮祭 ・ 余市漁業協同組合	・ 余市町の基盤産業である、漁業、水産加工業、青果業の活性化と地元製品のPR。また、海、みなと、漁船とのふれあいの場を提供 ・ 漁業組合市場で旬の鮮魚、水産加工品、青果の販売と無料漁船乗船体験の実施	・ 9月9日(日) ・ 余市港、漁業協同組合市場



一般の部 ⑥釧路港における交流事業



一般の部 ⑧観光客と町民との「おもてなし交流イベント」



一般の部 ⑨第4回よいち旬鮮祭



(特定の部)

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	・むろらん港鉄人舟漕ぎ大会 ・むろらん港鉄人舟漕ぎ大会 実行委員会	・港に対する市民の理解を深め、多くの人に交流の 場を提供することで、地域活性化に寄与する ・漕ぎ手6名、艇長・旗持ちの8人が全長150mの コースをタイムで争うレース	・9月2日(日) ・室蘭港 入江地区中央ふ頭
②	・みなと南極まつり稚内副港 ボートレース2018 ・稚内地元愛育成協議会	・稚内港を市民と連携した交流拠点機能を拡充する ためボート競技のイベントを開催し、にぎわい交 流拠点の確立を目指す ・漕ぎ手8名、音頭、舵とりの10名が往復160m のコースをタイムで争うレース	・8月5日(日) ・稚内港第一副港
③	・釧路港舟漕ぎ大会 ・釧路港舟漕ぎ大会実行委員会	・釧路港の利用促進に携わる有志が、海上を舞台に 競うことで感動するイベントを開催し、活気ある 港まちづくりを目指す ・漕ぎ手6名、声かけ、旗持ち2名の8名が往復 200mのコースをタイムで争うレース	・8月4日(土) ・釧路港 幣舞橋上流
④	・苫小牧港はすかっぱ ボートレース ・苫小牧港はすかっぱ ボートレース実行委員会	・多くの市民に港に足を運んで楽しんでいただき、 港に対する親近感を醸成する事で港まちづくりに 貢献する ・1チーム5名で港内220mの周遊コースをゴム ボートでタイムを争うレース	・8月4日(土) ・苫小牧港 西港区北埠頭
⑤	・函館港まつり協賛函館 ペリーボート競漕 ・函館ペリーボート競漕 実行委員会	・マッシュ・ペリーが函館来航時の様相を海のパ フォーマンスで表現し、歴史的な開港の事実を参 加者一同で共有 ・漕ぎ手6名、ドラ鳴らし、舵とりの8名で往復 150mコースをタイムを争うレース	・7月29日(日) ・函館港南ふ頭
⑥	・いかだレース大会 ・小樽築港パイエリア委員会	・「海で・港で・舟で」の遊び知らない子供達や、近 隣住民の「憩い、潤い、賑わい」を創造して、小 樽港を活性化させる ・小学校4年生以上の参加で、ゴムタイヤいかだを 使用してのレース	・8月19日(日) ・小樽港 若竹臨海公園



特定の部 ①むろらん港鉄人舟漕ぎ大会



特定の部 ③釧路港舟漕ぎ大会

第11回 Sea級グルメ全国大会 in もんべつ

今回で11回を迎えるSea級グルメ全国大会が、8月25(土)・26日(日)の2日間、紋別港ガリヤ地区海浜公園で盛大に開催された。当機構から理事長のほか2名の事務局次長が参加協力しました。

会場には全国から16のブースが軒を連ね、北海道からは地元みなとオアシスもんべつの「ホタテみそ焼うどん」を始め、みなとオアシス室蘭の「ヤン昆布うどん」、みなとオアシス苫小牧の「ほっきカレー」、みなとオアシス函館の「いかめし」、みなとオアシスわかかないの「宗谷の塩ホタテラーメン」、みなとオアシス網走の「網走ちゃんぽん」、みなとオアシスりしりとう・くつがたの「元祖尻タコカツ串」が参加しました。

道外からは第10回大会優勝のみなとオアシス魚津の「魚津バイ飯」、第3回大会を制したみなとオアシス八幡浜みなとの「じゃこカツ」、みなとオアシスみやこの「真崎焼き」、みなとオアシス佐渡両津の「牡蠣ながもラーメン」、もぐらんぴあみなとオアシス北限海女の「うにご飯」、みなとオアシスうみんぴあ大飯の「島バーガー」、みなとオアシスがまごおりの「ガマゴリうどん」、みなとオアシス志摩の「伊勢志摩あおさうどん」、みなとオアシス敦賀の「敦賀産甘海老唐揚げ」が参加してグランプリを競いました。

25日はおりしも北海道に接近中の2つの台風の影響で、午前10時の開会式の最中から雨になり、気温16度と本州の猛暑とは異次元の寒さで、16時ま

での開催予定が30分早まる中、来場者に向け元気な掛け声が飛び交っていました。

26日は昼頃になると陽射しが差し込み、天候も回復し近郊からの入場者も増えて約8000人となり、前日と合わせて1万人が全国各地の海の幸グルメを堪能した。中には悪天候を考慮して仕入れを控えて午前中で売切れてしまうブースもあり、料理を提供する他のブースでは順番待ちの長い行列が何か所もできました。

グランプリを目指して自慢の品のPRが懸命に繰り広げられる中、午後1時で投票が締め切れ、午後3時にはステージに出店者の代表が集合し、固唾をのんで結果発表に耳を澄ませました。会場の注目が集まる中、グランプリに地元みなとオアシスもんべつの名前が呼ばれ、みなとオアシス全国協議会長澤会長から優勝カップが竹内代表に手渡され、「宮川紋別市長と紋別市民の皆様のおかげ」と感激していました。

2位にはみなとオアシス苫小牧のほっきカレー、3位にはみなとオアシス八幡浜みなとのじゃこカツが入り、最後に次回大会開催地のみなとオアシス佐渡両津の代表が「皆さんぜひ佐渡に来て」と呼びかけ盛況だった2日間の全国大会が終了しました。

お手伝い頂いた直轄職員の皆様、関係者の皆様、寒い中協力ありがとうございました。



北海道開発局防災エキスパート (港湾・空港・漁港)

平成 18 年 10 月に発足した防災エキスパート（港湾・空港・漁港）制度は、港湾、空港、漁港施設などの整備、管理の専門知識を有した当機構エキスパート登録者が、大規模災害時に、北海道開発局港湾空港部から要請を受け、各開発建設部で支援活動を実施するものです。

北海道胆振中部地震に伴う 苫小牧港への出動要請

9月6日(木)未明の北海道胆振東部地震発生に伴い、国土交通省北陸地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「白山」が「入浴・洗濯・給水」(船内各施設を利用)支援のため9月8日(土)苫小牧港東港に入港との情報を受け、北海道開発局港湾空港部は、支援利用者へのスムーズな対応を確保するため、7日午後、防災エキスパートリーダーに8日から苫小牧港東港への出動要請があり、リーダーを中心に電気、電話など不通状態の中、人員の確保に努めました。

要請内容は、入浴などの利用者車両の駐車場への誘導、利用受付事務所への案内などで、8日(土)は16時から22時まで2名体制、9日(日)は12時から20時の6名、10日(月)は8時30分から15時の5名、11日(火)は8時30分から15時の6名、12日(水)から14日(金)は8時30分から15時の各5名が対応、7日間で13名、延べ34名が出動要請に対応しました。今回の要請は当機構が北海道開発局と協定を締結後の初出動でした。



TEC-FORCE 研修の聴講

平成 30 年 6 月 27 日(水)、7 月 25 日(水)北海道研修センターで開催した、北海道開発局防災課主催の TEC-FORCE 研修の聴講に防災エキスパート各 5 名(延べ 10 名)が参加しました。研修内容は、午前の部は防災課から北海道開発局 TEC-FORCE の緊急災害対策派遣隊について、午後の部は防災課から派遣隊の活動報告について、北海道建設新聞社からは災害時の広報、特に写真撮影ポイントについて分かりやすい説明がありました。



風水害による施設点検訓練

大規模災害発生に備えた行動計画の一環として訓練を行い防災エキスパート活動の実行性を高める目的として、9月5日(水)未明に北海道南側に接近した台風21号の通過に伴う港湾施設点検に防災エキスパート2名の出動要請がありました。5日13時から苫小牧港、白老港の係留施設を、直轄職員に同行して陸上から点検を実施した。施設には異常はなく、点検結果の確認および、6日の港湾業務艇からの海上点検予定について打合せを行い18時に終了した。尚、港湾業務艇からの海上点検は6日未明の地震発生のため中止となりました。



はこだてマリンフェスティバル2018で活躍する ぽーとんとべいくりん





■ 事務局・支部体制

平成 30 年度の事務局体制について、7月に1名が退任し、新たに1名の方が参加し14名で活動しています。また、支部体制も充実させ、活力あるみなとまち作りを、会員の皆様と共に進めてまいりますので、ご支援、ご協力お願いいたします。

事務局

役職	氏名	役職	氏名
事務局長	福岡 康宣	事務局次長	渥美 洋一
事務局次長	毛利 照男	事務局次長	秋葉 洋一
事務局次長	東 志郎	事務局次長	高田 稔年
事務局次長	市来 隆	事務局次長	斉藤 賢悦
事務局次長	渡部 優	事務局次長	大前 豊
事務局次長	渡辺 修司	事務局次長	柿崎 永己
事務局次長	三原 一憲	事務局次長	松崎 重貫

支部

役職	氏名	役職	氏名
札幌支部長	石島 隆司	室蘭支部長	中野 克彦
札幌支部次長	澤合 英治	苫小牧支部長	小山 良明
函館支部長	高森 孝紀	苫小牧支部次長	秋葉 洋一
函館支部次長	阿部 俊六	釧路支部長	平山 裕義
		釧路支部次長	本間 久雄

■ 防災エキスパートヘルメット



防災エキスパート用ヘルメットを今年8月に10個購入しました。今後の出勤の際は、防災エキスパート登録証明書、腕章ほかヘルメットの着用をお願いします。ヘルメットは当機構事務局室に保管しています。



ほーとん



べいくりん

事務局連絡方法

当機構事務局への連絡は、下記のいずれかでお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこともございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人

北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
セントラル札幌北ビル5F